

朝日新聞社、VOYAGE GROUP、Yahoo! JAPANが インターネット辞書サービス領域において業務提携 ～ 「コトバンク」と「Yahoo!辞書」が本日より連携を開始 ～

株式会社朝日新聞社
株式会社VOYAGE GROUP
ヤフー株式会社

「コトバンク」：<http://kotobank.jp/>

「Yahoo!辞書」：<http://dic.yahoo.co.jp/>

株式会社朝日新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：木村 伊量、以下朝日新聞社）と株式会社VOYAGE GROUP（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：宇佐美 進典、以下VOYAGE GROUP）、およびヤフー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮坂 学、以下Yahoo! JAPAN）は、2013年10月25日、インターネット辞書サービス領域において業務提携を締結しました。業務提携に基づき本日より、朝日新聞社が主催し、VOYAGE GROUPと協力して運営する「コトバンク」と、Yahoo! JAPANが運営する「Yahoo!辞書」は連携を開始しました。

今後、「Yahoo!辞書」は、検索できる辞書コンテンツを「コトバンク」の辞書コンテンツに変更します。

本提携は、日本最大級となる119の辞書からなる、約145万語を収録する「コトバンク」と、ユーザー数No.1（※）の辞書サービス「Yahoo!辞書」が連携することで、“意味を調べたい”というニーズに対して、日本で最も高い回答力を持つ辞書サービスを共同で展開することを目指すものです。具体的な連携の内容は以下の通りです。1. 「Yahoo!辞書」で検索できる辞書を「コトバンク」の辞書コンテンツに変更しました。検索できる辞書は4から119へ、言葉は約60万語から約145万語まで拡大します。これにより、「Yahoo!辞書」は日本最大級の辞書情報を検索できる辞書サービスになりました。2. これまで「Yahoo!辞書」では、言葉の検索を行い、意味を表示させる機能を提供してきました。今後は、検索した語の意味は「コトバンク」で表示します。3. 「コトバンク」は「Yahoo!辞書」「Yahoo!検索」との連携により、利用者との接点が増えます。これを生かし、日本最大級の辞書コンテンツを展開するサービスとして、さらに幅広くコンテンツを拡充していきます。朝日新聞社、VOYAGE GROUP、Yahoo! JAPANの3社は今後も、それぞれが持つ強みを生かして当サービスにおける連携を深めてまいります。



※Yahoo! JAPAN調べ



【広報からのお知らせについて】

Yahoo! JAPANの各サービスの公開や更新についての情報は、「Yahoo! JAPAN広報ブログ」「Twitter」「Facebook」でもお知らせしています。

Yahoo! JAPAN広報ブログ

アドレス：http://blogs.yahoo.co.jp/yj_pr_blog

Twitter

アカウント：[Yahoo_JAPAN_PR](#)

Facebook：<http://www.facebook.com/yahoojapan>

【Yahoo! JAPAN】<http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部/JASDAQ、銘柄コード：4689、本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役社長：宮坂 学）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約4925万人のユニークカスタマー数※と、1日23億6500万ページビューのインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティー、コマース、モバイル、スマートフォンなど多くのサービスを提供しています。

※Nielsen Online「NetView」、2012年6月、家庭もしくは職場からのアクセスによる。